

研究名

NICUにおける胃管が挿入されている児のミルク注入中の計画外抜去の原因追及

1．研究の目的

NICU・GCUには様々な理由で入院になり、経口哺乳ができない患者さんが多く、胃管挿入を行っています。治療上必要があつて行っていますが、新生児は胃管抜去の危険性を理解できないため自己抜去の事例が多く挙げられています。新生児の特徴として頬の面積が小さく、固定テープの大きさも小さくなり強度が弱くなってしまいます。また手を口元に持っていく仕草がみられやすく、口鼻腔に挿入されている胃管に手をひっかけやすくなります。胃管の再挿入に伴う刺激や誤嚥による肺炎のリスクが高まるため、どのような背景で胃管の自己抜去が起こっていたのかを、レポートやカルテを用いて原因を追及します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2023年4月～2023年12月までに胃管を挿入される方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月

研究対象期間：2023年4月1日～2023年12月31日

- 3 研究方法：胃管の計画外抜去が起こった際に以下の情報をカルテ・レポートから収集します。【修正週数、体重、日齢、胃管の挿入部位、固定テープの貼り方、固定テープの種類、胃管計画外抜去の患者の状態、児のポジショニング、注入開始から何分後に抜去されていたか】

3．研究に用いる情報の種類

修正週数、体重、日齢、胃管の挿入部位、児のポジショニング等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

日本小児看護学会 (<https://jschn.or.jp>) に登録します。
研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 新生児科 看護師 伊集院楓、藤田汐海

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 内線番号：3402

研究責任者：

国立成育医療研究センター 新生児科 看護師 伊集院楓